

大分市内で ナースウェーブ開催！！ 精神部会交流集会に参加

5月10日（土）多くの仲間と署名の呼びかけを！！

今年も看護週間のこの日に大分県医労連は、各単組から28名と多くの仲間が結集し、白衣姿で宣伝行動に奮闘しました。中でも全医労大分地区は久しぶりの女性集会をこの日の午前中に開催、医労連の運動の歴史を振り返り、署名の持つ意味、重要性を学習しました。その後おいしいランチを食べていざ署名行動へ。「私達の働き方を知って欲しい。多くの看護師・介助職が日夜奮闘している姿を伝え、病院を支える私達の労働条件改善は患者さん達の療養環境の整備のためにも必要です」と大きな声での訴えとなりました。1時間の署名宣伝行動で336筆集めることができました。「私の姉も、助産師です。昼夜なく懸命に頑張っている姿を見ていると、体をこわすのではないかと心配です」と若い学生さんが署名をしてくれました。働き方を知らせ、関心を持ってもらう事がまず大きな一歩です。



検索！

<http://oita-irouren.net/>

3月15日、16日に佐賀で行われました。1日目は、日本医労連の三浦宣子さんの「安倍政権の暴走」「診療報酬改定の動向」「命と暮らしを守る14春闘」についてがありました。日本の精神医療は病床の8～9割を民間医療に依存してきた。隔離、身体拘束においても精神救急の病棟が増えているため、隔離、身体抑制も増えているらしいなど昔の精神医療についてもお話がありました。診療報酬改定では消費税8%への引き上げに伴う対応として、入院においては平均+2%は上乗せするのでマイナスにはならない。消費税は上がるけど改定後もいろんな面において点数が高くなるものもあり決して病院はマイナスにはならないということで大変勉強になりました。2日目は、全体討論で各単組より春闘の状況や組織拡大についての意見交流会で役員の子世代交代や時期役員が育たないなどの内容の話して盛り上がりました。今回、参加して他の病院の人たちとの交流が図れ、とても良い刺激になり楽しく充実な時間を過ごしました。【宇佐病院労働組合】

「みんなは一人のために！！一人はみんなのために」でも組合活動は「自分のために！！」そんなことを言いながらせつせつとニュース原稿を書いている私です。今回は、少しブレイクタイムという事で・・・。ニュースの話を書きたいと思えます。組合でもニュースを発行しましょう。等とよく言いますが・・・。ニュースって？と考えたことがありますか？ ニュースの語源は、英語で綴ると「news」「new(新しい)」を複数化したものです。「複数の新しいもの」という意味の、中世ラテン語やフランス語の単語が英訳されたと言われています。また「方角を表す」(North(北)、East(東)、West(西)、South(南))の頭文字だ」として「東西南北四方から話題を集めたものだ」という説もあります。さて、それでは組合でのニュースって？と考えるみると、「組合の活動を紹介します。頑張る人を紹介する。新しい仲間を紹介する。行動・行事を知らせる。そして学習する。」etc. まあ少し考えただけでも普通言われるニュースとはちょっと違う感じもしますね。でも組合運動の中のニュースは、一番大きな、一番大事な運動媒体です。「学ぶこと・知らせること・動くこと・そして伝えること」これが1度に出てくる魔法のグッズです。沢山の仲間が集って、働いていく上での条件(勤務時間・休暇・給与・etc.)を使用者側と話し合い決定していきます。より良い条件・賃金は言うまでもありませんが、できる限り可能な条件設定を労使共に知恵を出し合って作っていくことが必要です。そのためには知識と技術交渉のための折衝能力とも言いますが、が必要になります。組合に入ったら役員になったら交渉できるというものではありません。学び知ることが必要になるのです。そのために先人や頑張っている組合の運動を知ることがとても大きな力になります。組合ニュースは、それを知るためのものです。そして、組合はこんな事をしてるんだとみんなに知らせることが大切です。こんな事もあんな事も一杯書いて、わーわーと話になって、「じゃー次はこれをしよう。いいや今度はこうして欲しい。」などと話が弾めばしめたもの。「news」とは、いろんな場所から働くという立場にたって頑張っていくための魔法の方位計と言っても良いのかもしれませんが。次回に続く・・・。